_____

_____

_____様

お待たせ致しました。好評のレポートが本年も完成しました！　今回は違ったビジネスチャンスがあります！！

Advanced Market Report

LCD / FPD 市場戦略年鑑　2003-04　のご案内

特集：3D 有機 EL ディスプレイ　---OELD の付加価値化の追求

●本レポートの類似タイトルのレポートにない特徴

1．2002 年刊ベストセラーとなった「有機 EL ビジネス最前線」を補完し、OELD ビジネスのチャンスを提示する。
2．FPD の大型用途のみならず、中小型にもスポットライトをあて、生産動向・カラー化動向・サイズ動向をワールドワイド 2008 年まで予測したうえで、各 FPD の需要予測として積み上げる。
3．LCD 業界の収益動向や業界構造の問題点を俯瞰する。
4．毎年好評の収益動向も記し、他社の既存レポート類との差別化を図っている。

●本レポートのコンテンツと内容

0．Executive Summary

1．特集：3D 有機 EL ディスプレイ　---OELD の付加価値化の追求

・OELD 市場の伸び悩みの要因は、OELD 技術の遅れだけではない。TFT-LCD の価格下落、そして性能向上も大きい。
・OELD は TFT-LCD 市場の代替を狙うのではなく、OELD の特性に基づく固有用途開発＝付加価値化を目指すべき。
・そのためにはフレキ OELD の他、応答速度を活かした 3D 化がきわめて有効である。
・携帯電話、ゲーム機、大型テレビ、パチンコ、公共用モニター、など 3D の潜在用途は数多い。

2．FPD / LCD/ CRT のワールドワイド中長期需要予測（2001 年～2008 年）

＜対象ディスプレイ＞TN, STN, color-STN, aSi･TFT, LT-pSi･TFT, HT-pSi･TFT, reflective-LCD,plastic-LCD,
PDP, passive-OELD, active-OELD, IELD, VFD, FED, LED, DMD, CRT, Flat CRT
各、⑴市場予測（数量）、⑵市場金額予測、⑶価格予測、⑷用途構成、⑸インチ別予測、⑹カラー化動向、
⑺メーカー動向、⑻技術動向、⑼その他重要な事項、等を収録

＜結論と内容＞
・2002 年の FPD のワールドワイドでの市場スケールは約 4.0 兆円と、2001 年比 28.2%の急成長を達成、2003 年は対前年 22.3%増の 4.9 億円を予測
・カラーSTN は TFT との競合が熾烈化しており、需要頭打ち化の傾向が現れてきた。
・大型 aSi･TFT はモニター、テレビの需要が大きく牽引、中小型は携帯電話、PDA などで需要が確立。やはり 2008 年まで FPD の中軸の座を占め続け、2005 年は 3.4 兆円規模のマーケットにまで伸長。
・低温 pSi･TFT は携帯電話など新規用途が拡大、2008 年には 6,700 億円市場にまで成長を予測。
・PDP は 2006 年頃に 1 兆円を突破か。テレビ組立ラインの中国シフトが活性化し、一気に単価は下落傾向へ。
・パッシブ OELD は TFT-LCD の進攻で携帯電話サブディスプレイ中心の展開。3D 化で活路を見いだすべき。
・アクティブ OELD は 2003-04 年からようやく製品化。2006 年にはパッシブと売上が逆転を予測。3D 化は重要。
・無機 ELD はユニークな性能を持つが、コスト・輝度・発色性に課題が多く、市場は横這い。
・VFD は安定・成熟局面にあるが、カラーディスプレイの各セグメントへの浸透により、漸増に留まる。
・FED は開発が遅れ、撤退企業もあって 2006 年からテレビ向けの市場投入が始まる。
・CRT はテレビ用、PC 用とも LCD, PDP の健闘があり、苦戦。チューブ撤退企業が相次ぐ。

∞ Infinite Technologies, 2003

３． FPD / LCD/ CRT のセグメント別競合予測

＜対象セグメント＞①大型（10 インチ以上）：PC モニター、ラージノート PC、テレビ、ノン PC モニター、その他（WP 等）
②中小型：スモールノート PC、PDA・Handheld PC、家庭用 WEB 端末、携帯電話メイン・サブ、簡易型セルラー、ページャー、小型 TV・ポータブル DVD、ビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、プロジェクター、AV フロントパネル、リモコン、ポケットゲーム、パチンコ、車載ディスプレイ・ナビゲーション、インパネ表示用、FA/計測機器、メディカル機器、POS/ECR、クロック・ウオッチ、コピーマシン、電卓、他各種
各、⑴ディスプレイ需要、⑵国別・地域別需要、⑶方式別ディスプレイ需要、⑷インチサイズ、⑸カラー化動向、⑹技術動向、⑺ユーザー動向、⑻その他重要な事項、等を収録

＜結論と内容＞

・PC 用モニターでは TFT が 3,000 万台突破。急速に 17 インチ市場が拡大、20 インチ以上の市場も立ち上がった。2007 年には 6 割が FPD 化。高精細モニターおよび大型モニターが急増しそうな趨勢である。
・ノート PC はメインストリームが A4、B5 と二極化するもメガノートも増加。需要はデスクトップより高い成長率。
・大型テレビは PDP、LCD の需要が大幅増加。2008 年には LCD2,000 万台、PDP600 万台のほか、アクティブ OELD および FED の参入でフラットテレビの出荷比率が、全 TV の 20%を占めることになろう、
・モバイル向けは反射型 LCD の搭載が相次いでいるが、PDA では TFT-LCD の搭載が進み、カラーSTN は需要漸減化へ。高精細の低温ポリの需要も喚起されてきており、今後急拡大が予想される。
・セルラー用は、次世代化で 2002 年後半より成長局面へ。メインディスプレイは、欧米ではモノクロ STN がまだ大きいが、欧州中心にカラーSTN の需要も顕在化。日本では aSi･TFT を主体に高精細な低温 pSi･TFT/CGS の投入が進む。サブディスプレイは STN, OELD-pas がほぼ二分しているが、世界的には搭載率は未だ 10%に及ばない。トータルの携帯電話用ディスプレイ市場は 2006 年に 1 兆円を超える。
・AV 関連では高温ポリ採用用途の他は、低温ポリが飛躍的に拡大。2003-04 年市場投入の OELD-act も期待大か。
・カーディスプレイは、これまでのインパネ内のキャラクター表示部、ナビゲーション、VICS や ETC 表示、カーPC、車載 TV を統合するものとして注目される。自動車生産台数が頭打ちするなか、1 台の車に 2-6 個のディスプレイが搭載されるため、中小型の最大用途の一つになる可能性を孕むが、現状では目立った動きは見られない。

４． LCD メーカーの収益動向と競争力分析

＜目次＞ (1) LCD メーカーの売上推移・投資スクリーニング
(2) TFT メーカーの収益動向
(3) TFT メーカーの競争力分析

・2002-03 年にかけて各社業績は回復・拡大局面へ。液晶テレビのシャープ、次々に大型ラインの新増設を打ち出す三星、LG Philips の成長が大きく、さらに台湾勢も大型 TFT で高成長を遂げる。やはり韓国勢の利益の高さは目を見張る。
・業界自体の競争力が第一グリープ、第二グループ、と分かれてきた。矢張り韓国メーカーの競争力が年次上昇。

●発刊内容

＜発刊日＞　2003 年 9 月 1 日
＜体　裁＞　基本的に PDF ファイル版（CD-ROM）のみでの供給となります。
＜価　格＞　特価（9 月 23 日以前のご発注）：100,000 円（税別）
定価（9 月 24 日以降のご発注）：120,000 円（税別）
＜申　込＞　付属の注文書に必要事項をご記入のうえ E-mail または FAX でご送付下さい。お電話でも結構です。

※『LCD/FPD 部材・需給年鑑　2004』は、内容を充実させ 2004 年 2 月 1 日頃刊行予定です。別途、ご案内申し上げます。

※ベストセラーとなった『有機 EL ビジネス最前線』（共著）が重版より発刊になりました。詳細は下記まで。
http://www.kcp-net.jp　もしくは、03-3817-4706 へ！　：工業調査会

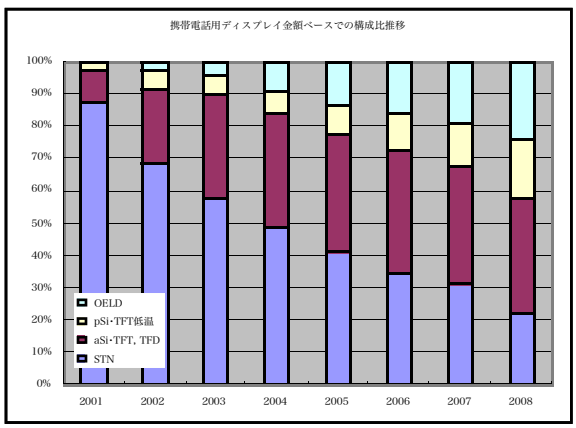
∞ Infinite Technologies, 2003

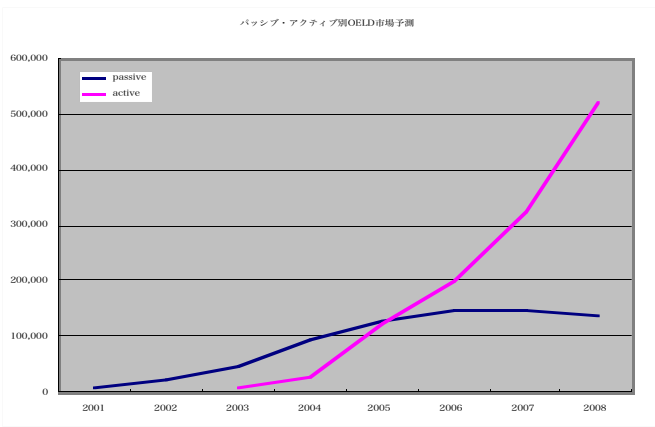
●内容見本

■TFT-LCD のインチサイズ別予測

(M Yen)

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	CAGR
0-3"	135,500	232,500	315,400	396,500	459,800	502,000	483,200	458,900	19.0%
3-5"	47,500	62,600	72,100			81,300	73,600	71,500	6.0%
5-9"	217,200	224,400	249,900			230,800	201,000		-0.6%
中小型 Total	400,200	519,500	637,400			814,100	757,800		9.1%
10.x"	32,900	29,000	26,600	25,200	22,400	19,600	18,200		-9.2%
12.x"	116,400		113,300	107,000			80,300		-6.1%
13.x"	83,800		56,900	34,200			26,000	24,500	-16.1%
14.x"	437,800	403,000	384,100	387,900			280,000	239,500	-8.3%
15.x"	488,200	710,000	1,010,600	1,138,500			1,382,400	1,326,000	15.3%
16-20"	96,300	402,000	528,500	570,000	587,500	709,700	800,100	976,500	39.2%
21-40"	20,000			246,000	229,500	288,800	406,300		57.6%
大型 Total	1,275,400			2,508,800	2,599,600	2,774,600	2,993,300		13.7%
Grand Total	1,675,600	2,314,900	2,893,400	3,247,200	3,398,400	3,588,700	3,751,100		12.7%



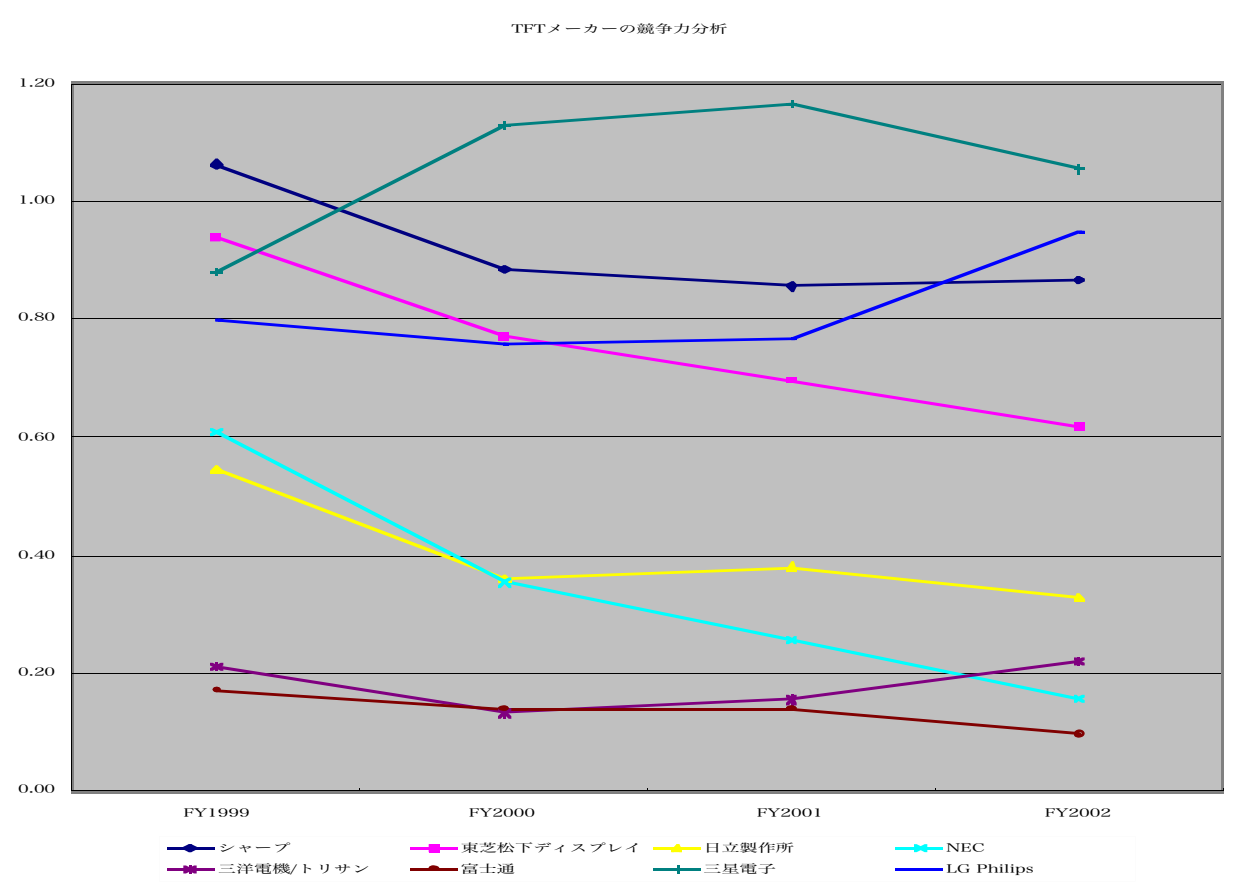


■PDA 類/ハンドヘルド PC のカラー化予測

(K Units)

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	CAGR
STN 3-5"	1,000	1,500	1,500	1,400	1,200	1,000	800	500	-9.4%
aSi･TFT 3-5"		6,800	9,400			13,700	13,700	12,700	16.3%
pSi･TFT 3-5"		4,200	5,900			12,800	15,800	19,800	37.8%
OELD 3-5"	0	0	0			1,500	3,500	5,800	
STN 5-9"	400	300	300			300			-4.0%
aSi･TFT 5-9"	100	200	300	300	300	300			17.0%
pSi･TFT 5-9"	0	0	100	200	200	200			
OELD 5-9"	0	0	0	0	100	100	200	200	
Total	8,000	13,000			25,300	29,900	34,800	39,800	25.8%

∞ Infinite Technologies, 2003



お申し込みまたは問合せ先
（株）インフィニット・テクノロジーズ　　大垣　城治
〒158-0083　東京都世田谷区奥沢 6-5-10-502　☎03-3702-0526　03-3702-0515
E-mail: george@infinite-tec.com　　会社概要は、http://infinite-tec.com へ！

注　文　書

発注日：2003 年　　月　　日

『LCD / FPD 市場戦略年鑑　2003-04』を以下の通り申し込みます。

貴社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　部数　PDF 版：　　部

所在地　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

部署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご担当＿＿＿＿＿＿＿＿　☎＿＿＿＿＿＿＿＿FAX＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

∞ Infinite Technologies, 2003